

「第67回関東東海花の展覧会」  
バラ部門で農林水産大臣賞受賞

のりゆき  
**佐野 範幸**さん

1969年生まれ 磐田市敷地在住  
860坪のビニールハウスで2万株のバラを  
育てている

**今** 回のきらり磐田人は、今年2月に  
東京都で開催された「第67回関東  
東海花の展覧会」で、バラ部門最高位の  
農林水産大臣賞を受賞された佐野範幸さ  
んです。

バラを作るようになったきっかけは？

もともとバラを扱う農業法人に勤めて  
いました。その時から何か自分でやっ  
てみたいという思いがあり、34歳の時に前  
職の経験を生かしてバラ作りに挑戦しよ  
うと思って始めました。

バラを育てる上で難しいことや苦勞し  
ていることは？

病害虫と湿気の対策です。バラは年中  
虫が付きますし、湿気にも弱く、湿気る  
とさらに病気になるやすくなり、花が腐  
ってしまいます。バラは繊細で弱い花な  
ので管理が難しいです。あとはトゲです。  
ハウスの中は暑く、特に夏は40度ぐら  
いまで温度が上がるため、半袖で作業す  
ることが多く、トゲで腕が傷だらけにな  
ってしまうので大変です。

バラを育てる際に心掛けていることは？

育て方はもちろん大切ですが、どんな  
品種を育てるかも大事だと思います。バ  
ラは新しい品種が頻繁に出ますし、人  
気の品種もココロ変わります。また、人  
気のある花は育て方が難しいことが多  
いため、生産性とニーズのバランスは常

心掛けています。

バラ作りの魅力は？

自分が育てた物が喜ばれるのはうれし  
いです。物作りの楽しさは、全て自分で  
やることだと思います。失敗しても自  
分の責任ですし、成功したときはとて  
うれしいです。自分が楽しんで育てたバ  
ラを皆さんに届けられるといいと思  
います。

私たち生産者は、お客様から直接声を  
掛けられることがありません。で  
すが、品評会などで評価していただ  
いた、遠方の方から「佐野さんのバラが欲  
しい」と言ってもらえたりするとやっ  
ていて良かったと思います。

今後の目標をお願いします

バラに限らず、花を作る人が増えてほ  
しいなと思います。バラ作りの楽しさを  
伝えて、次の担い手を育てるためのPR  
活動や働き掛けをしていきたいです。



農林水産大臣賞受賞時に出品  
した品種：アマダ  
撮影日：4月13日